

◎ 聴読解問題スクリプト

Track 6

1 番 女子学生と男子学生が、大学の集中講座のウェブページを見ながら話しています。
この女子学生が受講したいと思っている講座はどれですか。

女子学生：集中講座、何か受講するの？

男子学生：うん、これ。農作業ロボットだって。面白そうじゃない？

女子学生：うん、面白そうだね。私は何がいいかな。

男子学生：この、鈴木先生って、昆虫を農薬として使って植物を栽培する研究では、第一人者だよ。

女子学生：へー。昆虫農薬ねえ。でも、もっとわかりやすいのがいいな。人間と動物の関わりとか、どうしたら動物と人間が安全に暮らせるかとか、そういうことに興味があるんだけど。

男子学生：じゃ、動物科学か環境学は？ 動物科学の先生は、河川に住む生き物の食害がテーマ。環境学の先生は、森林保護などの問題がテーマだね。

女子学生：最近、クマやイノシシが農作物に被害を与えて問題になってるって聞いたけど、里山を守ることも関係があるよね。これにしようかな…。

男子学生：人間も動物も住みやすい環境づくりについて考えるんだったら、それがいいんじゃない？

女子学生：そうだよな。これにする。

Track 13

8 番 男子留学生と女子学生が広報誌を見ながらボランティア活動について話しています。
この男子留学生が、希望する活動に参加できない理由は何ですか。

男子留学生：市の広報に載ってたボランティア活動に申し込もうと思うんだ。

女子学生：へえ、いろんな活動があるんだね。どれにするの？

男子留学生：漢字が苦手だから、この朗読、ってのはちょっとね。お年寄りに接する活動がいいかなって思ってるんだ。ほく、大家族で育ったから、お年寄りの世話は慣れてるしね。あ、でも毎日は無理だから、こっちのにしようかな。

女子学生：家庭訪問とか、イベント企画ね…。あれ？これ、だめじゃない。

男子留学生：え？どうして？

女子学生：「活動内容など」のところ、よく読んでみて。

男子留学生：…ああ、ってことは、ほくは対象外ってことなんだね。

10番 先生が生物学の授業で、同じ植物をえさにする動物AとBの競争について話しています。この先生の話グラフで表すと、どのようになりますか。

動物の種の間には厳しい生存競争があります。例えば、同じ植物をえさとするAとBと一緒に飼育すると、図1のように競争に負けたAがいなくなってしまう。

しかし、ある時点、つまり、図1のtの時点でAとBの両方を食べる別の動物、これを捕食者といいます。それを加えてみます。この捕食者が数の多い方を食べる場合、次のようなことが起こります。はじめは、BがAより数が多いので、Bが捕食者に集中的に食べられてしまいます。しかし、しばらくすると、Bの数が減って、AがBを上回るようになります。すると、今度はAが集中的に食べられるようになります。今度はAが減ってBが増え、Aを上回るようになります。そのあともこのようなことが繰り返されます。こうして、捕食者が数の多い方を食べることで、どちらの種もいなくなるというわけです。